

(チーム役員によるチームタイムアウトカード提出時における、TOのカードの受け取り方について)

1) 確認

① 競技規則書(競技規則解釈3 第2段落)

チームタイムアウトを望むチームは、チーム役員がジャッジズテーブルに「グリーンカード」を置いて請求しなければならない。

② ジャッジズテーブルに置くタイミングに合わせ、TOがカードを受け取る(手渡し)こともできる。

③ TOは「机の上に置いた」際、もしくは「受け取った」際に、正しい請求のタイミングかどうかを瞬時に確認する(特に、得点された後の請求を除き)

④ TOは、チームタイムアウトカードが机の上に置かれる、または手渡される前に、チームタイムアウトカードを持ったチーム役員がコーチングゾーンを越えたからといって、速やかにブザー・笛を鳴らして競技を中断させてはならない。

※ ブザー・笛をならした際に、請求したチームの相手チームがボールを所持している可能性がある

※ 請求したチームに加担していると誤解される

⑤ TOはチームタイムアウトの請求に合わせて、立ち上がって受け取ったり、身を乗り出して受け取ったりしない。

※ ブザー・笛をならした際に、請求したチームの相手チームがボールを所持している可能性がある

※ 請求したチームに加担していると誤解される

2) 申請事例

No.	イメージ	解 説
事例1		<p>チーム役員がチームタイムアウトを机の上に置いた。 TOは中断できるタイミングかを瞬時に確認し、<u>正しい請求のタイミングであればブザーを鳴らす。</u></p> 
事例2		<p>TOはまだチームタイムアウトカードを<u>受け取っていない。</u> チーム役員がコーチングゾーンを越えたからといって、<u>この状況でブザーを鳴らしてはいけない。</u> このような行為は、チームに加担しているという誤解を与えることにつながると同時に、正しいタイミングによる請求かどうかを瞬時に確認できないことにもつながる。</p> 

No.	イメージ	解 説
事例3		<p>TOは立ち上がったたり、身を乗り出したりすることなくチームタイムアウトカードを<u>受け取っている</u>。 TOは中断できるタイミングかを瞬時に確認し、<u>正しい請求のタイミングであればブザーを鳴らす</u>。</p> 
事例4		<p>TOはブザーを鳴らす前から<u>立ち上がり、身を乗り出してチームタイムアウトカードを受け取ろうとしている</u>。 このような行為はチームに加担しているという誤解を与えることにつながると同時に、正しいタイミングによる請求かどうかを瞬時に確認できないことにもつながる。</p> 
事例5		<p>TOは椅子に<u>座っている状態</u>であるが、ブザーを鳴らす前に<u>身を乗り出してチームタイムアウトカードを受け取ろうとしている</u>。 このような行為はチームに加担しているという誤解を与えることにつながると同時に、正しいタイミングによる請求かどうかを瞬時に確認できないことにもつながる。</p> 